



## 県政一般

- ト [県の政策・財政](#)
- ト [組織・職員・行政改革 / 監査](#)
- ト [県民参加・意見募集](#)
- ト [情報化・情報公開・個人情報保護](#)
- ト [入札 / 公売](#)
- ト [市町村情報](#)
- ト [各種審議会情報](#)
- ト [例規・行政資料](#)
- ト [選挙](#)
- ト [広報](#)

### ▼ 県政一般の関連リンク

- [選挙](#)
- [公社 / 事業団](#)
- [公営企業](#)
- [入札 / 公売](#)

## 第251号 / 今日よりもよい明日の環境をめざして

[トップページ](#) > [県政一般](#) > [広報](#) > [メールマガジン](#) > [協働の現場から](#) > 第251号 / 今日よりもよい明日の環境をめざして

### 協働の現場から

地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨…。新聞やテレビで連日取り上げられる数々の環境問題は私たちの生活に密接に関わっており、子どもたちの未来を考える上でも避けては通れないものです。

環境問題に取り組むことを天職と考え、地域の環境保全と住民の環境に対する意識の向上を目指している環境のスペシャリスト片亀光さんにお話を伺いました。



**片亀光(かたかめ・ひかる) 47歳 (玉村町)**

(有)環境サポートシステム代表取締役  
 群馬県環境アドバイザー、環境カウンセラーズぐんま事務局長、NPOぐんま理事などとして多くの活動を行うほか、週に1度高崎経済大学で環境に関する講義を行っている。

また毎月最終月曜日にはエフエム群馬「イブニンの扉」でエコライフに関する話題を提供している。株式会社環境評価機構代表取締役、コアクション21審査人、省エネルギー普及指導員

### 環境に興味を持ったきっかけ

私が環境問題に関心を持ったのは中学一年生の頃です。美術の授業で公害のポスターを書くことになり、その参考にと公害問題を取り上げた新聞を切り抜き始めたのですが、その記事の多さと内容にびっくりしました。自分たちが何気なく生活している中にこんなに問題があるのか、これは安心して生活できないぞって思ったんですよ。そのときから、公害や環境問題は自分にとって避けて通れないものと痛感し、自分なりに本や資料を調べたりして環境に関する

知識を深めてきました。

そして大学時代、霞ヶ浦の水質を考える市民団体の活動に参加し、仕事のかたわら地域の環境を守るために活動をしている多くの人たちと出会ったことで、自分もどんな形でもいいから一生環境問題に関わっていこうと心に決めました。

### 自分なりの活動を始めて

卒業後就職した生活協同組合でも、組合員の人たちとゴミの減量に取り組んだり、原発反対を訴える写真展を開催するなどして、自分なりに環境問題をテーマとした行動をしてきました。さらに地元の玉村町でも多くの人に環境について興味を持ってもらいたいと思い、町に働きかけて町民を対象とした環境セミナーを開催したりしました。そのときから市民だけでなく、行政とも協働していくことが大切だと思うようになりましたね。

ちなみにこのセミナーの受講者たちでその後「玉村町の環境を考える会」を設立し、ゴミ問題や河川の水質悪化など市民の立場で感じた町の環境問題をまとめて「まちづくり環境白書」を発行したんです。これが後日、町の環境基本計画に反映されました。自分たちが発信したことが、行政で取り上げられ、制度として広まることはうれしいことだなと思いましたね。

### 民と官を結ぶコーディネーターとして

現在私は、自ら会社を設立して企業相手に環境マネジメントを指導する仕事などを行っています。組織の枠を超えた活動をしたかったのと、環境問題に取り組むことを自分の仕事としたかったからです。

ただ、それだけでなく、会社の代表という立場とは別に県の環境アドバイザー（注1）や環境カウンセラー（注2）としても地域の環境保全のために活動をしています。内容は、個人でできるゴミ減量や省エネの方法を講義したり、環境活動団体の要望を行政に伝えたり、環境に取り組む団体や企業同士の横の連携を図るお手伝いをしたりとさまざまですね。

「毎日忙しいけど、おかげでたくさんの人に出会い、勉強させてもらっています。人とのつながりから新しい活動や考え方が生まれることも多いから、こういった縁を大切にしていきたいですね。」

#### 注1 県環境アドバイザー

地域における環境保全活動のけん引役になることを目的とした環境ボランティアの登録制度。現在、約400人の環境アドバイザーが県内各地で活躍。

[詳しくは県環境アドバイザーホームページへ](#)

#### 注2 環境カウンセラー

市民活動や事業者の中での環境保全に関する専門的知識や豊富な経験を有し環境保全活動に関する助言などを行う人材として、環境省の行う審査を経て登録された人たち。現在3,856人が登録。

[詳しくは環境省環境カウンセラーホームページへ](#)

#### 注3 ISO14001規格

環境マネジメント標準化のために生まれたマネジメント規格。この規格の取得により、環境に配慮した経営をする企業として社会的な評価を得ることができるほか、環境負荷を下げるため省エネルギー対策などを進めることによりコストの削減がはかれるなどのメリットがある。最近では取り引きの条件として、ISO14001の取得などを推奨する企業も登場。

#### 注4 エコアクション21

ISO規格をベースとして環境省が策定した環境経営システム。ISO14001に比べ、取得期間・費用が少ないことから、中小事業者、学校などでも取り組みやすい制度。

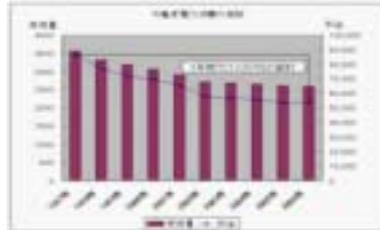
私の活動を一言で言えば、民と民はもちろん、民と官の間も取り持つコーディネーターといったところでしょうか。環境に関する制度や法律ってたくさんあるし複雑で分かりにくいから、自分たちのやっていることが環境にいいことなのか、法的に問題がないのか分からず困っている人や企業が多い。そんなとき自分が間に立って行政に相談したり、逆にみなさんに制度について分かりやすく説明をしたりしているんです。また、行政の方で新しい環境の計画を作るなんてときには、市民はこんなことを希望していますよというようなアドバイスをしたりもします。

このような活動は難しいけど結果的に民と官両方にとってメリットになることが多いので、やりがいがあると思っていますよ。

## 無関心とあきらめが一番の大敵

環境問題に取り組むというと難しそうと尻込みをする人が多いようです。大変だから初めからしないと言う人もいますが、放っておけば坂道をころげ落ちるだけ。『この世が明日終わるとしても、私は今日リンゴの木を植える』という言葉がありますが、私はどんなに急な坂道であってもあきらめたくはないんですよ。

それと、もっと問題だと思うのは無関心であること。環境問題は自分たちの生活にすごく密接なのに、現状や問題点を知ろうとしない人がいますよね。でも今は書籍やインターネットでたくさんの情報を知ることができる便利な時代なので、無関心でいるのは少し無責任な気がしてしまいます。



実はわが家では97年から、電気料金をグラフ化して変化をみています。待機電力のカットや省エネ家電の使用などいろいろ工夫して、一般家庭の半分くらいの電気料におさえています。今でも減り続けているので、どこまでいけるかと家族全体で楽しみにしているんですが、こうやってデータにすることで、普段自分たちがどのくらいエネルギーを使っているか分かります。簡単なことですが現状を知るには一つの方法ですよ。

さらに、家では庭にコンポストを設置して生ゴミはすべて家庭で処理していますし、庭木にかける水は雨水を溜めたものを利用しています。これらは、ゴミ焼却や水を浄化するために多くのエネルギーが使われているという問題を知ったからこそ、少しでもそのエネルギーを減らしたいと考えて実施しているのです。



このような話をするとう大変ですねと言われることが多いのですが、無理しているわけではないんですよ。時間や手間もそれほどかけているわけではなく、ちょっと気にかけているだけ。環境問題というのは、一人一人の考え方とその行動にあると思うんです。決して無理しろとは言いませんが、自分の生活を見直して、無駄な点に気がいたら改めるといった基本的なことがすごく大切なんだと知ってもらいたいです。

## 1人の100歩より100人の1歩

環境を良くするために必要なのは、頭でっかちな環境オタクが増えることではなく、環境について考え行動する普通の人々が増えることだと思っています。一人の100歩より100人の一歩を実現するために私は、



個人であれ企業であれ行政であれ、必要とされれば相談にのりますし、一緒に考えていきたいと思っています。

家庭でできる省エネ方法から環境に配慮した企業の経営方法まで、自分がこれまで蓄積してきた知識や経験を多方面から皆さんにお伝えできたらと思うんです。一人でも多くの方が「明日の環境を今日よりもよくしたい」と願うのであれば、そのお手伝いは喜んでさせていただきたいと思っていますよ。

---

自らの会社で、企業に対しISO(注3)やエコアクション21(注4)の取得の支援を行っている片亀さん。この制度に取り組んだ企業は、単にコスト削減がはかれたということ以外にも、社員一人一人の仕事や環境に関する意識が変わっていくという成果を出しているそうです。

「環境問題に取り組んでいるという社員の自負が、会社全体を活気づけているんです」

決して無理強いするわけではなく、あくまで市民目線で環境問題に対し提言しつづけている片亀さん。「環境問題に取り組みはじめてから、自分たちの生活スタイルや仕事方法に誇りが持てるようになったという人が多いんですよ。そんな人がどんどん増えたら、すばらしい社会になると思いませんか」という言葉が印象的でした。

(聞き手 深町)

---

< 連絡先 >

企画担当 広報課

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

電話 027-226-2171

FAX 027-243-3600

kouhouka@pref.gunma.jp

**群馬県庁** 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1  
電話番号(代表):027-223-1111  
メール:[webmaster@pref.gunma.jp](mailto:webmaster@pref.gunma.jp)

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ](#)

---

All Rights Reserved, Copyright(C)Gunma prefecture.  
各ページに掲載の写真・音声・CG及び記事の無断転載を禁じます。